

3.1-3 今原子力発電をなくすのは経済崩壊など無理があるのでは？

おっしゃるとおりです。では一見原子力発電が動いていなくても、そこそこ電気は足りているという意見があります。これはどういうことでしょうか。

かつて日本で合計出力約 3,000 万 kW の原子力発電が動いていたときは、その分だけ火力発電に必要な燃料は輸入する必要はなかったのです。3,000 万 kW、すなわち日本全体の 30% 近くの電力を供給していた、それがいまやすっぽりぬけおちた、この結果化石燃料の追加輸入でもたらされる貿易赤字は年間 3.6 兆円になります。

さらに世界的に一段と環境規制を厳しくする方向にあり、わが国は実は大分遅れをとっています。ずばり CO₂ を削減するには原子力の比率を高めねばなりません。再生可能エネルギーたとえば、太陽光や風力発電は気象に左右される電源ですから常にバックアップとして火力発電で穴埋めしなくてはなりません。ということは CO₂ の抑制は再生可能エネルギーではわずかしか出来ないことになります。また原子力発電がすっぽりぬけているわけだから 3,000 万 kW 近くは火力発電でまかなわなくてはなりません。この分の CO₂ も発生します。

このまま原子力発電が動かないと電気料金は高止まりし、電力多消費型の企業はくるしくなります。ドイツのように原子力発電を減らし、再生可能エネルギーが多くなると一部の企業は近隣のオーストリアやチェコへ移ったという話も聞きます。節電だけでは難しく、夏場の電力ピーク時には輪番停電なんてということにもなりかねません。(2015 年 2 月回答)

